

サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS－CSIRT」の設立について ～「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS－WG）」の取組み～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、地銀共同センター^{(注)1}参加行12行とともに、MEJAR^{(注)2}参加行と2021年11月に立ち上げた「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」（以下、「CMS－WG^{(注)3}」という。）の取組みとして、サイバーセキュリティ分野での連携組織「CMS－CSIRT^{(注)4}」を共同で設立しましたので、お知らせいたします。

昨今、金融業界を取り巻くサイバー犯罪、サイバー攻撃等の脅威は増しており、多くの地域金融機関はさらなるセキュリティ強化の必要性を認識しております。今回、地銀共同センターおよびMEJARの参加行が協力し、サイバーセキュリティ態勢を一層強化するため、本組織を立ち上げることにしました。

本組織は、定例会等による交流を通じて、参加行のセキュリティ部門の関係構築をはかるとともに、参加行のセキュリティ強化に資する情報提供や、セキュリティ担当者の能力向上に向けた勉強会を実施していきます。また、共同でのセキュリティ対応訓練や演習、参加行の共同での対策を目指した調査、検討なども実施していきます。

当行では、今後も地銀共同センターおよびMEJARの参加行との連携の枠組みを活用し、安定的、かつ、強靱な経営基盤を構築するとともに、お客さまのさらなる利便性向上を促進してまいります。

記

【CMS－CSIRT概要】

名 称	CMS－CSIRT
活動内容	1 セキュリティ部門の交流促進 2 参加者間の情報共有の促進 3 勉強会の開催 4 共同でのセキュリティ対応訓練や演習 5 共同でのセキュリティ対策実現を目指した調査・検討など
参加者	地銀共同センター全13行、MEJAR全6行、NTTデータ （広島銀行は2030年度よりMEJARの共同利用を予定）

【参加行】

地銀共同センター参加行（13行）



MEJAR参加行（6行）



- (注) 1 地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センターであり、参加行は以下のとおり（利用開始および銀行コード順）
京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行
- 2 MEJAR…NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センターであり、参加行は以下のとおり（利用開始および銀行コード順）
横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行、広島銀行（2030年度より共同利用予定）
- 3 CMS-WG…システム関連で親和性のある両センターがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場
- 4 CMS-CSIRT…CSIRT（Computer Security Incident Response Team）は、一般的にセキュリティインシデント発生時の対応を行うチームと説明されるが、CMS-CSIRTでは、平時においてインシデントに備えるための情報共有や、担当者のスキル向上、セキュリティ対策の導入を活動内容とする。

<ご参考>CMS-WGの取組み

時期	取組内容
2021年11月	地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）発足
2023年3月 (本件)	サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS-CSIRT」設立

(以 上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。